



柳沢中学校だより

# 朱雀の翼



西東京市立柳沢中学校  
校長 浅野 周子  
電話番号 042-463-5014  
FAX番号 042-462-3104  
令和6年3月15日第11号

## 学校評価アンケートを振り返り来年度へつなげる



教育目標の達成について、生徒満足度アンケートや学校評価アンケートのデータをもとに、この1年間の教育活動の成果を振り返り、来年度へとつなげていきます。

### 教育目標1：勉学に励む生徒

とにかく中学校で基礎学力をしっかり身に付けて卒業させなければなりません。先生方には、「毎時間の授業を大切にしよう」、「自学の力をつけよう」と声掛けをしてもらい、赤いプレートを黒板に貼って、なにができるようになるか、本時の目標を確認してもらっています。92.3%の生徒が「授業はわかりやすい」と答えています。「授業を前向きに取り組んでいる」84.7%、昨年度より1.5%増えてはいるものの、90%越えしないのは、なぜなのか不思議でした。

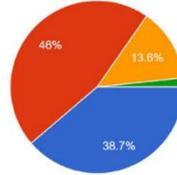
教育相談アンケートで、「勉強の仕方がわからない」と答えた生徒が4分の1くらいおり、授業についていけないと答えた生徒も少しいることがわかり、今、先生方に勉強の仕方アドバイスの資料を作ってもらっています。具体的な勉強方法、自主学習ノートづくりや自宅でもできる「eラーニング」をもっと推進していきます。

### 教育目標2：思いやりのある生徒

「友達の話を最後まできく、友達の約束を守る」は9割を超え、優しい人が多いといえます。ボランティア活動への積極性は64.2%とやや低いのですが、地域行事のボランティアの参加率は高いので、学校の活動にも参加してほ

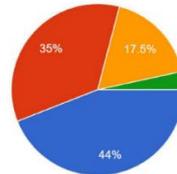
私は、前向きに授業に取り組んでいる。

84.7%  
+1.5%



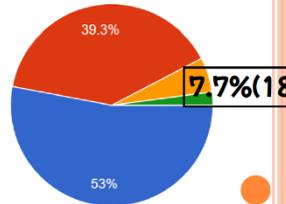
私は、家庭学習に積極的に取り組んでいる。

79.0%  
+2.3%

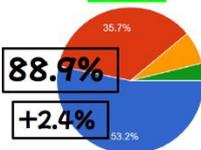


先生たちは、各教科の授業において、その授業の目標をはっきりと示し、わかりやすい授業をしてくれている。

92.3%  
+1.5%



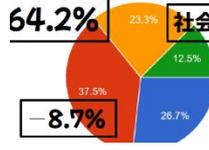
### 成長



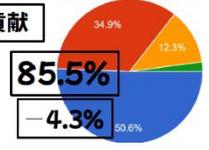
### 協力



### 清掃、ボランティア

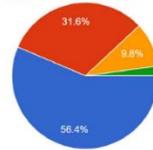


### 健康管理、安全



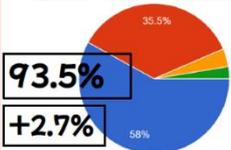
### マナー、ルール(あいさつ、時間、言葉遣い)

88.0%  
+0.3%

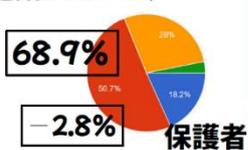


### ネットマナー(携帯電話、パソコン)

93.5%  
+2.7%



68.9%  
-2.8%



教育目標3：心身ともに健康な生徒、良質な睡眠、夜遅くまで携帯いじりやゲームは自分でコントロールする強い意思をもたないといけません。栄養のあるものをバランスよく意識して食べることも大事です。体育の授業でしか運動していない人もいます。体力づくりもとても大事です。

「健康管理に気をつけ、安全に学校生活を送ることができた」は、85.5%で昨年度より4.3%減っています。体の中のことは見えないからこそ、自分の健康管理をしっかりとしていざという本番に備えなければなりません。健康管理も実力のうちといえます。

来年度も健康カードは面倒かもしれませんが、継続して取り組んでいきます。コロナウイルスが5類になったものの、今年は、コロナウイルスだけではなく、インフルエンザや溶連菌、感染性胃腸炎、水疱瘡にかかって休む生徒が出現して驚きました。しかし、この冬、学級閉鎖をしなくて済んだのは、生徒も大人も1人1人が健康管理を徹底したからです。運動会や合唱コンクール、弁論大会などの行事をベストの状態ですべて実施するためには1人1人の健康管理が必要です。

いろいろな角度から今年度の教育活動の長短がよみとれる学校評価アンケート。来年度も全校生徒が元気に過ごし、みんなが居心地よい学校づくりに取り組んでいきましょう。

# 校内作品展

日常の生徒の学習の成果を発表する場として、運動会や合唱コンクールと並んで「柳沢中三大行事」と言っても過言ではない「校内作品展」が開催されました。1つ1つの作品を見ながら、作り手が一生懸命に取り組んだ姿が想像できました。作品の1つ1つに込められた思いが伝わってきて、柳沢中生の作品を生み出す力のすばらしさを改めて感じました。

アルベルト・アインシュタイン（Albert Einstein, 1879年 - 1955年「相対性理論」によって知られるドイツ出身の理論物理学者）は、「知識はすでにあるものを知ることだが、創造力は新しいものを生み出す力である。」と述べています。創作活動は、自己の内面の感情や考えを表現する手段としてとても重要です。自分と向き合い、自身を理解していくことによって、独自性が発揮され、新しいアイデアや作品が生まれるのです。そして、他者と共有するためにも、創造的な表現は貴重な手段といえます。合唱コンクールや弁論大会の時にも感じましたが、柳沢中生のすばらしい感性をさらに磨いていきたいです。



コロナ禍で、友達との関わりや行事等に様々な制約のある学校生活を送っている子供たちに、多様な体験活動を通じて、笑顔になってほしい、友達と共に心を動かされる体験や思い出に残る様々な機会を通じて、前向きに感性を育ててほしいという思いから、都内の公立・私立の学校を対象に、「豊かな心を育む体験活動の充実事業」として始まったプロジェクト。

今年も東京都教育委員会による「子供を笑顔にするプロジェクト」に応募したところ、見事当選し、3年生は劇団四季「ライオンキング」を観劇してきました。1階の前方席、オーケストラはなかったのですが、パーカッション（打楽器）の生演奏を聴くことができたり、動物に扮した演者が通路を通り、演技を間近で見ることができたりして、よい刺激を受けたのではないのでしょうか。

コロナウイルスが5類になったにもかかわらず、今年度もこの事業がなくならずに運営されてよかったです。今年度は、往復の観光バス代が発生するところでしたが、小規模校ということで保護者負担にならずに済んでよかったです。この事業の継続は、来年度がぎりぎりというところでしょうか。なんとか、継続してくれることを願っています。

## 海洋教育パイオニアスクールの取組

海洋教育パイオニアスクールの取組も3年目となり、今年も各学年別に以下の取組を行いました。

- 1年生：南極のプランクトンをスケッチし、観察、分類作業に取り組みました。
- 2年生：能登の海洋研究所の教授とオンラインでつなぎ、イカの解剖実験を行いました。
- 3年生：サメの種類と歯と食性などの関係を調べ、4種類の分類作業を行いました。



## ペップトーク実践モデル校の取組

ペップトーク実践モデル校として、昨年度に引き続き、進級前の1、2年生を対象に講師を招き、授業をしていただきました。意識して「とらえ方変換」をすることができると思いますね。



## いのちをいただく（3年生の最後の理科の授業）

助産師、内田美智子さんが書いた物語文「いのちをいただく」を教材に、「命と食」をテーマに「動物の命をいただいて生かされていること」について考える授業が行われました。授業後の感想文では、飽食の時代、食べることが作業になっていないか、改めて自らの「食生活」について当たり前でないことや生かされていることに気付き、「感謝」の気持ちをもって食事をする事の大切さについて、多くの生徒が書いていました。改めて考えることができたのはとてもよかったですね。



### お知らせ

卒業証書には「学校印」と「校長印」が押してあります。割印（縦長の印）は本市の規定に沿って押印していませんが、卒業証書の効力に問題はありません。ご安心ください。

